兵庫の漁業人のための情報誌

拓水

3
March.2026
TAKUSUI No.833

ＪＦグループ兵庫

特集　SEAT-CLUB おさかな講師

CONTENTS

2 特集 SEAT-CLUB おさかな講師
4 第27回「山田記念賞」表彰式・祝賀会 開催
5 明石のりまつりを明石市市民広場にて開催／
河野 秀二郎氏が兵庫県自治賞を受賞／
第50回淡路のり品評会 開催!!
6 淡路職員協議会 南あわじ市福良にて研修会を開催／
JF森が淡路市内小学校2校にのり加工場見学・勉強会を開催
7 兵庫JCC協同組合研究・交流会の開催／
新アプリ「うみまっぷひょうご」運用開始しました！
8 ようそろ／浜のイベントカレンダー
9 兵庫JCC通信／協同組合人養成講座3月講座のご案内
10 SEATCLUB魚介レシピ

特集 SEAT-CLUB おさかな講師

SEAT-CLUBおさかな講師とは？

JF兵庫漁連SEAT-CLUBは2009年から兵庫の水産物の普及を目的に様々な活動を展開しており、その活動の中に「おさかな講師登録制度」があります。

おさかな講師登録制度は、SEAT-CLUBの活動に共感し、SEAT-CLUBの活動で講師を努めてもらえる方を「SEAT-CLUB　おさかな講師」として登録し、兵庫の地魚の普及活動に取り組んでもらうという制度で、現在は12名の「SEAT-CLUB　おさかな講師」が登録しています。

登録した「SEAT-CLUB おさかな講師」はSEAT-CLUB が毎月行う講習会に参加して、魚の調理技術や知識の他、豊かな海の再生に関する知識を学び日々スキルアップを重ねています。

その「SEAT-CLUBおさかな講師」のメンバーが主に活躍している活動が、「小中学校を対象としたさかな講習会」や「SEAT-CLUB 料理教室」、兵庫県・コープこうべ・JF兵庫漁連が連携して取組んでいる「ひょうごの地魚推進プロジェクト」等の料理教室や豊かな海の学習会です。

「さかな講習会」は県内の小中学校に魚の三枚おろし教室や豊かな海の再生について出前講座を行うもので、現在は年間約7,000名あまりの生徒・児童が受講しています。

「さかな講習会」・「SEAT-CLUB料理教室」・「ひょうごの地魚推進プロジェクト」の他にも様々な料理教室や体験教室などで兵庫県内を飛び回り活躍しています。

学校での豊かな海の学習

学校での三枚卸講座

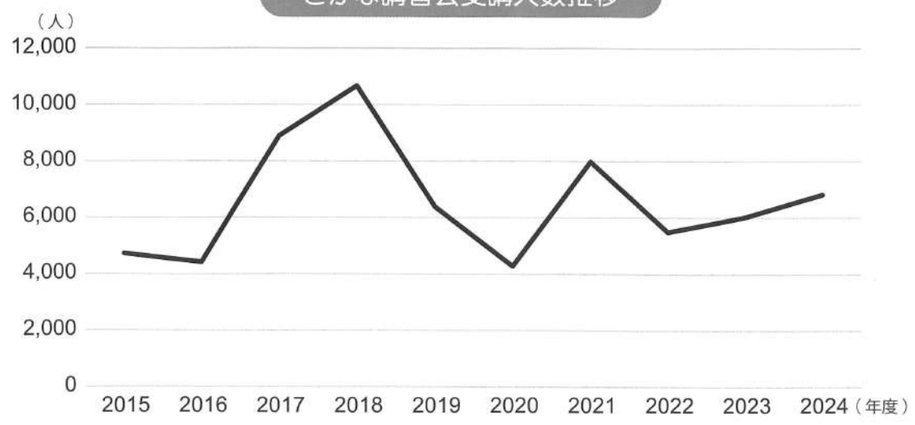
学校でのタッチプール

こども園での豊かな海の学習

こども園での調理実演

こども園でのタッチプール

さかな講習会受講人数推移



魚料理の持ち帰り教室

おさかな講師講習会

オンライン料理教室

魚のさばき方教室

コープこうべ組合員料理会

未利用魚を使った出前教室

お魚かたりべ感謝状受賞式

「お魚かたりべ」とは水産庁が、更なる水産物の消費の拡大を推進するため、様々な分野で多様な魚食文化の普及・伝承に努めている方々を、水産庁長官が「お魚かたりべ」として任命することによって、広く国民の皆さんへの魚食に関する情報発信の取組を後押しすることを目的としてつくられました。

「SEAT-CLUB　おさかな講師」の中にもこのお魚かたりべが7名在席しており、2018年2月15日には、全国の「お魚かたりべ」の、日頃の魚食普及・水産物の消費拡大の活動に対し、水産庁長官より感謝状が授与されました。

これを受けて「SEAT-CLUB おさかな講師」の今後の活動の励みとなるよう感謝状受賞式を開催し、当時の瀬戸内海漁業調整事務所江口静也所長より感謝状が手渡され、今後の活動を期待する旨のご挨拶をいただきました。

これからの活動

これまで、兵庫県産水産物の普及活動で「SEAT-CLUB おさかな講師」のメンバーが活躍してきましたが、SEAT-CLUBでは今後もさらに活動を拡大していくため、新たにおさかな講師として活動していただける方を募集しています。

この活動に共感し、兵庫の水産業を一緒に盛り上げていただける方がいらっしゃいましたらぜひSEAT-CLUBまでご一報ください。

ひょうごのお魚ファンクラブ
SEAT CLUB

第27回「山田記念賞」表彰式・祝賀会 開催

～本県水産業の発展に貢献された3名と1団体が受賞～

主催者挨拶をされる山田理事長

来賓祝辞をされる齋藤知事

謝辞を述べられる星尾さん

（一財）兵庫県水産振興基金（山田智昭理事長）主催による山田記念賞表彰式および祝賀会が2月5日（木）神戸ポートピアホテル（偕楽の間）で開催され、県・漁協等の関係者ら69名が出席しました。

今年で27回目を迎える同賞表彰式では、兵庫県の水産業の発展に貢献された3名と1団体に、兵庫県　齋藤元彦知事から「天与」と命名された「男女漁業者立像」レリーフが贈呈されました。

山田理事長の主催者挨拶の後、兵庫県　齋藤元彦知事、水産系統団体を代表して、ＪＦ兵庫漁連　田沼政男会長より来賓祝辞が贈られました。最後に受賞者を代表してJF姫路市　星尾隆文様が「この賞を励みとして、今後とも本県水産業の発展のために、微力を尽くしたい」と謝辞を述べられました。

表彰式終了後、大輪田塾21期生が紹介され、今後の抱負を語りました。

祝賀会では、森吉秀副理事長の開宴挨拶、兵庫県農林水産部 守本真一部長の乾杯のご挨拶に始まり、齋藤知事が受賞者一人ずつとお話しされるなど、終始華やかな雰囲気に包まれるなか、なぎさ信用漁業協同組合連合会 村瀬晴好経営管理委員会会長様が万歳三唱を行い、幕を閉じました。

山田記念賞 受賞者

令和７年度 兵庫県水産賞受賞者

JF姫路市	星尾 隆文
JF森	森　二兵
JF但馬	塩谷 政弘

第30回 全国青年・女性漁業者交流大会 水産庁長官賞

JF南あわじ	南あわじ漁業協同組合 わかめ協議会種苗部

（敬称略）

明石のりまつりを明石市市民広場にて開催

明石のりまつり実行委員会

2月1日（日）明石市漁連をはじめ、明石商工会議所や明石旅館ホテル組合、明石商店街連合会等から構成される明石のりまつり実行委員会の主催による令和7年度　明石のりまつりが開催されました。

明石のりまつりは、明石のりのブランド化を目的にあかし市民広場で節分前の日曜日に開催しています。

当日は明石市漁連による新のりの直売、のりや豊かな海の再生に関するパネル展示の他、漁網アップサイクルのワークショップ・地酒の有料試飲・明石の農業者による野菜や米の直売も行われ、明石の新のりを求めて多くの消費者が来場しました。

また、本年はこれまで別会場で開催していたジャンボ巻きずしづくりを、あかし市民広場のステージ上で開催し、大きな盛り上がりを見せました。

あかし市民広場の会場外では明石市立図書館でも海苔に関する展示が行われたほか、明石駅周辺の地域全体を活用した謎解きクイズラリーも同時開催され、当日の明石駅周辺にはたくさんの人が訪れ大きな賑わいを見せていました。

アンケートの結果も毎年楽しみしているとの声が多数見られ、今後もこのようなイベントを通じて地域の水産物が愛される存在であり続け、兵庫の水産がさらに盛り上がって行く事を願うばかりです。

明石市漁連による新のりの直売

ジャンボ巻きずしづくり

河野 秀二郎氏が兵庫県自治賞を受賞

1月15日（木）伊弉諾神宮において、河野秀二郎氏（JF浅野浦代表理事組合長）が、永年にわたり、資源管理や技術研究に尽力するとともに、ワカメ養殖の振興や販売強化を通じて漁協経営と品質向上を推進し、さらに次世代への啓発活動にも積極的に取り組むなど、淡路市の漁業振興に貢献された功績から兵庫県自治賞を受賞されました。

心よりお慶び申し上げます。

河野 秀二郎氏
（JF浅野浦代表理事組合長）▶

第50回淡路のり品評会 開催!!　～出品のりは福祉施設等に寄贈～

（一社）淡路水交会（片山　守会長）主催による淡路のり品評会が2月3日（火）淡路水産センター（洲本市）で行われました。

同品評会は淡路島内において生産されるのりの品質改良及び養殖・加工技術の向上を図る目的で毎年開催され、今年で50回目となります。

兵庫県洲本農林水産振興事務所・系統団体の関係者ら10名の審査員が、応募のあった55品の中から1次審査で選ばれた40点を対象に、色・艶・風格・味などを基準に審査が行われ、審査員たちは最後まで頭を悩ませながら、真剣な表情で審査にあたっていました。

審査の結果、優秀品19点が選ばれ、最上位の兵庫県知事賞はちくば水産（JF洲本炬口）が受賞しました。

なお、今回も出品されたのりはすべて味付け加工して、福祉施設等に無料配布されます。

審査の様子

〔第 50 回　淡路のり品評会審査結果表〕

（敬称略）

賞の区分		漁協名	経営体名	代表者名	賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名
兵庫県知事賞		洲本炬口	ちくば水産	竹岡千尋	なぎさ信用漁業協同組合連合会経営管理委員会長賞	一宮町	松本水産	松本金人
兵庫県議会議長賞		富島	富島水産	川端一色		津名塩田	中野水産	谷　忠男
兵庫県淡路県民局長賞		一宮町江井	大清水産	大塚公人	兵庫県漁業共済組合長賞	仮屋	岡田水産	岡田光司
兵庫県漁業協同組合連合会長賞		富　島	恵　水産	宗和　恵		育波浦	内海水産	内海春樹
兵庫県立農林水産技術総合センター所長賞		室津浦	忠庄水産	磯　喜樹	兵庫県JF共済推進本部会長賞	由良町	谷政水産	谷口一成
兵庫県淡路県民局洲本農林水産振興事務所長賞		育波浦	柳川水産	柳川高広		室津浦	元富水産	松下時久
島内市長賞	洲本市長賞	由良町	三島水産	神木龍一	日本漁船保険組合兵庫県内海支所運営委員長賞	湊	三共水産	山形和三郎
	淡路市長賞	育波浦	柿本水産	柿本幸久		室津浦	大関水産	岡野門太
	南あわじ市長賞	南　淡	西本水産	西本琢美		一宮町江井	ヤマカ水産	大塚拓也
					一般社団法人淡路水交会長賞	室津浦	南町水産	南　嘉浩

淡路職員協議会　南あわじ市福良にて研修会を開催

淡路職員協議会（吉田 樹会長：JF福良）は職員学習と親睦を図るため、毎年研修会を開催しています。

今年は2月7日（土）に前田 若男氏（JF福良 代表理事組合長）を講師に迎え、3年トラフグ養殖施設の見学および福良漁協の取組についての講演会を実施しました。

会員をはじめとする総勢40名は福良漁港に移動し、4隻の船に分乗して海上養殖施設に向かいました。

海上には5基の生け簀が並び、1基あたり約5,000匹のフグが元気に泳いでいました。前田氏の施設の全体説明を受けたほかフグの歯切りの実演も行われ、参加者は熱心に見学しました。

続いて福良漁港前にある若尾水産の加工施設を見学しました。加工場内は皮すき機やてっさ用のスライサーなど機械化が進んでおり、効率的な作業体制が整えられていました。一方、手作業で行われるてっさの盛り付けでは、その鮮やかな仕上がりに参加者から感心の声が上がっていました。

講演会では3年トラフグの概要やJF福良で実践しているブランド化の取組の紹介等がありました。参加者から活発な質疑応答も行われ、理解を深める機会となりました。

最後に昼食を兼ねた懇親会では、終始和やかに皆さん談笑している様子が見られ、楽しく研修会を終えることができました。

歯切り実演の様子

集合写真

講演会の様子

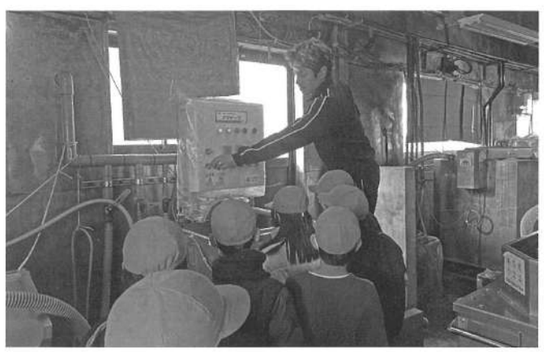
JF森が淡路市内小学校2校にのり加工場見学・勉強会を開催

JF森がおこなっているのり加工場見学及びのり勉強会が今年も開催され、1月28・29日に淡路市浦小学校から3,5年生98名、2月4・6日に淡路市立学習小学校3,4年生107名が参加しました。

見学会では、厳水産と広良水産の2水産の加工場に訪れ、洗浄から検査までののり生産工程を見学しました。普段見ることのできないのりができるまでの工程を見ることができ、小学生たちは興味津々でした。

勉強会では、同JF2階の事務所でJF兵庫漁連 小西好氏、森重雄大氏がのり採苗から収穫までの作業工程についてお話されました。また、勉強会の内容についてクイズの出題もあり、皆さん積極的に手を挙げて回答していました。

最後に、森吉秀氏（JF森 代表理事組合長）より、同小学校全校生徒の給食用に味付のりが寄付され、小学生に地元の水産業の魅力を伝えました。


のり加工場見学の様子

勉強会の様子

兵庫JCC協同組合研究・交流会の開催

JF兵庫漁連　指導部

兵庫JCCでは、異なる協同組合組織が互いの事業・活動を理解し、今後の協同組合間連携の更なる促進を図ることを目的に、『兵庫JCC協同組合研究・交流会』を2008年から毎年開催しています。2025年度は、「漁業」について理解を深めてもらうため、2月5日に神戸市内で開催し、各組織から組合員・役職員計37人が参加しました。

当日は、神戸市須磨区にある「すまうら水産のり工場」において、若林良取締役代表より海苔養殖について説明いただいた後、加工場の見学を行いました。また、「Suma豊かな海プロジェクト」をはじめとする、地域活動についてもご紹介いただきました。

続いて、神戸市漁業協同組合に場所を移し、セリの見学を行いました。

その後、JF兵庫漁連指導部 坂口建主任より「豊かな海づくりの取組」、神戸市漁業協同組合 山田智昭代表理事組合長より「シラス漁の方法と組合が行うチリメン加工」について説明をいただきました。

最後にJF兵庫漁連 田中稔彦専務理事の進行による意見交換会を実施し、海の栄養塩減少の要因や消費者にできる取組等について活発な意見が交わされました。参加者からは、「見て・聞いて・食べて・考えて・話す」構成の交流会により、水産業の現状や課題への理解が深まり、自組織の取組と重ね合わせて考える貴重な機会となったとの声が多く寄せられ、有意義な交流の場となりました。

すまうら水産のり工場見学

のりの試食

神戸市漁業協同組合 セリ見学

新アプリ「うみまっぷひょうご」運用開始しました!

兵庫県環境部水大気課

ひょうご豊かな海づくり県民会議

ひょうご豊かな海づくり県民会議が2026年1月7日に運用を開始した掲示板アプリ「うみまっぷひょうご」を紹介します。ぜひご利用ください。本アプリは「豊かな海づくり」や「環境」に関するイベント等を簡単に探せる情報掲示板アプリで、閲覧・投稿ともに無料です。「豊かな海づくり」では朝市や試食会・お魚料理教室、「環境」ではセミナーやバードウォッチングなどなど様々なイベント情報が掲載されています。イベントの探索は、地図上に表示された開催場所や、カレンダーに表示された開催日から簡単にすることができ、非常に使いやすいです。また、イベントの投稿も、開催日、開催地、チラシ画像の3つを入力するだけでできます（最短30秒）。情報発信にも、ぜひご活用ください。なお、投稿は県民会議会員のみに限定しています。新たに県民会議に入会してイベントの投稿をしたい方はお気軽に事務局までお知らせください！

うみまっぷひょうご

サイトはこちら

ようそろ

～ずっと真っ直ぐに～

（ようそろとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるときの号令として使われる）

長男が漁師を継ぐにあたって思う事

大輪田塾8期生（JF一宮町）　魚　裕之

長年漁師をやって来て思うのは、自分たちが若手の頃は個性の強いいかにも漁師のおっちゃんて感じの人達が沢山いて、浜にとても活気が有ったと思います。人それぞれの持つ力はとても凄くて、組織として人数が多いと言うのは、それなりに問題も起こりやすいが、やはり馬力が有るし、何かあった時の団結力と安心感が有ります。私は底曳き網漁と海苔養殖に従事していますが、海苔養殖に関して言うと、当時は毎年の様に色落ちが来て、経営の厳しさから海苔養殖を諦める人達が後を絶たない状況が続いていました。そんな中でも、海苔組と言う運命共同体が有ったから、みんな諦めずに頑張って来れたんだと思います。本当に一人一人の人間の存在はとても大きいと思うし、組合員の減少と言うのは、全国各組合にとって現在直面する最大の課題ではないかと思います。

私は今、一宮町漁業協同組合の役員として組合の運営に携わっています。当組合でも組合員の高齢化に伴い、今後さらなる組合員数減少に対応するべく、役員並びに組合職員、そして組合員が一丸となって、販売事業の集約に向けて取り組んでいるところであり、その他にも若手を中心に、漁場環境の改善に向けたかいぼり事業や施肥事業、さまざまな産卵床の設置など、積極的に前を向いた活動に取り組んでいますが、これらの活動は直ぐに結果が表れるものと、表れにくいものとが有り厳しい現状が続いています。

そんな中長男が漁師をしたいと言い出し、親としては嬉しい反面、これから先、若い子達が直面する問題について考えると、心配でもあります。

多くの問題点を少しでも早く解決していき、組合員全体の意識向上や将来に対する可能性や希望を見いだす為には、現在行ってる事業はとても意義のある事だと思います。また、この様な活動をSNS等で対外的に発信して行くことにより、漁業というものを一般の方にも関心を持ってもらい、漁業の活性化に繋がる事を願うと共に、後継者である若者達にも安心して従事出来る環境を整えていきたいと思っています。

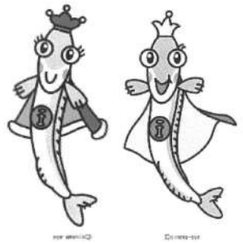
浜のイベントカレンダー

開催日時	イベント名	開催場所	主催者
3月15日（日）8:00～	日曜かに朝市	浜坂漁業協同組合事務所横	JF浜坂
3月20日（金）8:00～	淡路市春まつり島びらき	道の駅あわじ	淡路市春まつり実行委員会
4月５日（日）10:00～	浜坂みなと ほたるいか祭り&地えび	浜坂漁港せり市場	浜坂みなとほたるいか祭り 実行委員会

イベントの詳しい情報は「うみまっぷひょうご」をご覧ください!!
うみまっぷひょうごの紹介はP７で掲載しています。

うみまっぷひょうごQRコード

浜の賑わいづくりにご活用下さい。
掲載希望の団体様は兵庫県水産振興基金まで。
皆様からのご連絡をお待ちしています。



JA

JA兵庫南 株式会社ファームかんの 西神野支店
地域との協力体制を構築し、持続可能な農業の推進と地域の活性化に挑戦する

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介します！

Q1．成り立ちについて教えてください

株式会社ファームかんのは、神野町内の４つの営農組合が統合する形で平成22年に設立しました。

当支店では、キャベツや水稲等の計６品目を栽培しており、耕作面積は神野西集落にある農地の約85%にあたる14.4haに上ります。

Q2．方針について教えてください

集落の農地を維持していくためには、地域住民全体での協力が不可欠であると考えています。

そこで、当支店では「集落農家の力を結集して農地・環境の保全を目指す」をモットーに掲げ、活動しています。水路の清掃や田植えなど人手を要する作業は、農作業を当支店に委託している農家にも協力を依頼し、地域全体で農地の保全に取り組んでいます。

Q3．特徴について教えてください

当支店では、年間を通じて作物の栽培を継続できる体制を構築しています。

支店の設立当初は米・麦・大豆の栽培が中心でしたが、より多くの収益を得るために、これらの作物の収穫後にキャベツや白菜等の野菜を同じほ場で作付けする二毛作栽培を開始しました。

休耕期間を設けることなく通年での作付けが可能となったことで、年間を通した所得が見込まれ、経営の安定化に繋がっています。

Q4．現在、力を入れている取組みについて教えてください

当支店では、地域との繋がりを深めることを目的に食農教育や耕畜連携に取り組んでいます。

食農教育では、地域の子ども会と協力し、サツマイモの植え付けや収穫体験を通じて、子どもたちが農業に触れることができる機会を提供しています。また、耕畜連携では、地元の牧場と協力し、作物の肥料となる牛糞と牛の餌となるワラを交換する取組みを行っています。

Q5．今後の目標について教えてください

今後も、地域の方々との協力体制や年間を通した農地の利用を継続し、持続可能な農業の推進と地域の活性化に向けて努力していきたいと考えています。

また、新型コロナウイルスの影響で長らく実施していなかった他の営農組合への視察等も再開し、意見交換を通じて経営の安定化や農作業の効率化に向けて情報収集を行いたいと考えています。

https://ja-grp-hyogo.or.jp/

生協

第24回税務・経理講習会

1月23日　兵庫県生協連主催の「第24回税務・経理講習会」を開催し、計21名（8会員生協 3子会社）が参加しました。

税理士の江藤俊哉氏から綿密な資料に基づき、2025年度税制改正の解説「生協に関する事項を中心とした解説」、法人税の基礎 会計と税務調整及び申告書について経理処理で注意すべき税務上の取り扱い事例「法人税、消費税等の個別疑問点と対応国税庁質疑応答事例集」をもとに詳しく講義いただきました。

受講者からは「決算前に法人税の基礎や申告、固定資産について学べ、事前に確認すべき点が明確になりました」「法改正の解説は非常に興味深く、実務に直結する有意義な内容でした」「各生協の事業の内容に沿って説明いただけたので、とても理解しやすく勉強になりました、このような実務に直結した内容の講習会に参加したいです」との意見が寄せられました。

講師　江藤俊哉税理士

会場参加の様子

https://www.coop-hyogo-union.or.jp/

協同組合人養成講座 3月講座のご案内

協同組合人養成講座（3月講座）は、休講させていただきます。
次回講座は日程が決まり次第、ご案内させていただきます。

春の海からのごちそうを、ご家庭で♪

保存版

簡単!!魚介レシピ

ホタルイカのキッシュ

～下ごしらえ少なめ、オーブンにおまかせの簡単レシピ～

【材 料】（2 人分）

ボイルホタルイカ	12 杯
かぼちゃ（角切り）	80ｇ
マッシュルーム（薄くスライス）	1 個
パイシート（4 等分にカット）	1 枚
溶けるチーズ	大さじ3
パセリ（細かく刻む）	少々

A	卵	1 個
	牛乳	50ｍｌ
	生クリーム	50ｍｌ
	粉チーズ	小さじ1
	塩・コショウ	少々

【作り方】① 冷凍のパイシートを４等分にカットし、常温に戻しておく。
クッキングシート１５㎝幅２枚を半分に切り、４枚のシートを作成する。
② 角切りにしたかぼちゃをラップに包んで電子レンジ600wで２分加熱する。
③ Ａの材料をボウルに入れて混ぜる。
④ クッキングシートの上でパイシートを一回り大きいサイズに麺棒で伸ばし、四隅をつまみ、形を作りフォークで数か所穴をあける
⑤ ④にスライスしたマッシュルーム・②のかぼちゃ・ホタルイカをバランスよく飾り入れ、③の卵液を流し入れる。
⑥ 上に溶けるチーズをのせ、200℃に予熱したオーブンで 13-15 分焼く。
⑦ こんがりと焼き色がついたら、パセリをかけ、お皿に盛り付け出来上がり♪

Instagram

ひょうごのお魚ファンクラブ
SEAT CLUB

表紙の言葉

第27回　山田記念賞 表彰式・祝賀会

山田記念賞は、長年にわたり大きな夢と希望を抱いて本県水産業の発展に尽くされた故山田岸松氏を偲び、そのご功績を記念して、平成３年に創設され、水産業の経営、技術に優れ、多年にわたり本県水産業の振興に貢献し、その功績が顕著な方々にレリーフを贈呈し、その栄誉を讃えるものです。

拓水 TAKUSUI 3 March
発行：一般財団法人 兵庫県水産振興基金
〒673－0883 明石市中崎１丁目２番３号 兵庫県水産会館２Ｆ TEL 078-919-1331 FAX 078-919-1336